

# やすらぎだより

10  
月  
号

陽気で緑にあふれた生活 それやすらぎ園です

施設長コラムバックナンバーホームページ掲載しています。

コラム第172号

## 「還暦の力」

施設長 植田 誠



60歳という区切りは、私が考える以上に大きな節目の意味を持つらしい。何年も関わりが無くとも‘還暦祝い’を理由に集え、ありがたいことに、ではなく致し方なく酒席も増える。そんな節目を、果たして本人達は本当に目出度いと思っているのか、長寿の時代にわざわざ60という区切りは意味を成すのか。

少なくとも私にとっては大したことではない、と強がっても

「60歳にしては若いですね」

の一言で、単純な小生の頬は自然と緩んでしまう。

先日も小学校時代の‘連れ’から、48年振りの思わぬ連絡があった。他愛もない話であっても懐かしさは嫌というほどにじみ出る。さすがに半世紀近くの時が経てば昔の顔もすぐに思い浮かびはしないが、電話の声が表情を思い出させ互いの交換で歩み呼び起こさせる。

これも還暦という力の成せる技か。

私が生まれたのは昭和34年1959年の亥年。上皇上皇后陛下がご結婚されたミッチーブームが最高潮を迎え、天覧試合で長嶋選手が村山投手からサヨナラホームランを打ち、正義の味方の月光仮面が社会現象となった年。戦後復興を経て高度成長時代に向かうまさに右肩上がりの頃、60年前はそんな時代だった。

その反面、伊勢湾台風によって5000人もの方がお亡くなり、水俣病の原因説が世間に出始め、60年安保闘争へと突き進む我が国は、繁栄と没落を繰り返しながらもしゃにおに進んでいた時代でもあったと言えよう。節目を迎える時に生まれた頃の時代背景に触れるのも、中々感慨深いものである。

時代は昭和から平成、そして令和となった。生かされている私達は人生の終焉は分からないが、過去から学習できる術を与えられている。還暦という力をいただき、これまでを振り返りながらも明日を見続けなければならない。

祝  
還暦



### 社会福祉法人やすらぎ会 実施事業

- 特別養護老人ホーム やすらぎ園
- 在宅サービス事業所
- 在宅介護支援事業所
- 訪問介護事業
- 訪問入浴介護事業
- 短期入所生活介護事業
- 在宅介護支援センター
- 天理市東部地域包括支援センター
- ケアハウス やすらぎ
- 介護予防関連事業
- グループホーム むつみあい
- 住まいの生活支援事業